

令和2年度第1回一宮市総合教育会議 会議録

1 日時

令和2年9月25日（金）16時～17時

2 会場

一宮市役所 本庁舎 11階 1101会議室

3 出席者

市長 中野 正康
教育長 高橋 信哉
教育委員（教育長職務代理者） 平松 悦子
教育委員 加藤 学
教育委員 鈴木 孝之
教育委員 野田 典子
教育委員 土川 正夫
教育委員 浅野 智貴

4 事務局（10名）

堀川行政課長、戸谷行政課専任課長、滝野行政課課長補佐
野中教育文化部長、堀教育文化部次長、中村教育文化部総務課長、春日井学校教育課長、
櫻井学校教育課管理主事、長村教育文化部総務課専任課長、竹元学校教育課課長補佐

5 傍聴者

なし

6 議題

- (1) 一宮市教育大綱について
- (2) 新しい時代に向けた、一宮市中学生制服のあり方について

7 資料

- (1) 一宮市教育大綱・解説
- (2) 新制服導入に向けた取組のまとめと今後のスケジュール
- (3) 「みんなの制服プロジェクト」だより No.1
- (4) 8月実施 保護者アンケート結果
- (5) みんなの制服プロジェクトシンポジウムについて
- (6) 児童生徒・保護者・教員の意見反映の流れ

※会議の内容は次項のとおりです。

事務局

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただ今から一宮市総合教育会議を開催させていただきます。本日は、傍聴希望者はありませんでしたので報告いたします。それでは、会議に先立ちまして、市長からごあいさつを申し上げます。

市長

みなさん、こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。今年には緊急事態宣言となり、大変な年度となりました。教育委員会の皆様には、前例のない初めてのことへの対応に感謝申し上げます。本日は、教育大綱と制服という大きなテーマが議題となっております。ぜひ忌憚のないご意見を頂戴し、活発な議論をしたいと思っております。

事務局

本日の議題は、「一宮市教育大綱」と「新しい時代に向けた、一宮市中学生制服のあり方」についてです。多くのご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、総合教育会議の設置に関する要綱第4条第1項により、ここからは市長が議長となります。よろしくお願い致します。

市長

では、「一宮市教育大綱」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

教育大綱は、法により策定することが義務付けられ、教育に関わる基本的な方針について、市長と教育委員会が協議を行うことにより、市長が策定することとなっています。一宮市では平成29年3月に策定しましたが、委員の皆さんの大半が替わっていることもあり、教育大綱とはどういったものなのか、策定に至るまでの議事録等に、事前にお目通しいただきました。前文では理念が書かれており、中段では20年先を見据えた目標を、実施方針はおおむね5年間の総合的な施策の根本を示したものであり、策定から実質3年半しか経過していないことから、大きな方針転換の必要はないと考えています。

市長

コロナの問題が出てきて変える必要はないか。委員の皆さん、質問や疑問でも結構ですから発言をお願いします。

委員

議論の経緯等もしっかり読ませていただきました。今のコロナ禍をどう乗り越えるかという問題がある中で、この大綱の評価を求めるのは酷と考えます。ここで大きな方向転換をするのではなく、もう少しこのままにしておいてはいかがでしょうか。

市長

今年度までの計画なので、変えるとしたら今年度中ということになりますか。

事務局

改正するとなれば、今年度中ということになります。

市長

この半年で大きく変わってきたこととして、オンライン教育があります。他にも少人数学級などのテーマもあります。クラスの人数が少ないほど幸せなのか、いい子が育つのかという疑問もあります。

教育長

学習指導要領の改正で、個別最適化という言葉が大事にされています。一人ひとりをしっかり見てどう伸ばしていくのかをやらなければならない。その上で数の問題ではなく、一方で、ICT も有効な機器だと思えます。進級にあたり、身に着いたかどうかの評価をすることも必要な時かと思えます。

市長

高校でも単位制のところがありますし、変わっていくのでしょうか。

教育長

この3カ月間をどうやって取り戻すか、授業のあり方を考えていかなければならない。教育大綱については、これでいいと思います。

市長

それでは、この大綱を継続させていきましょう。次に、新しい時代に向けた中学校の制服のあり方について、事務局から説明をお願いします。

事務局

前回の総合教育会議以降の取組について、みんなの制服プロジェクト、シンポジウムの2点に分けて、ご説明します。

資料1の「新制服導入に向けた取組のまとめと今後のスケジュール」をご覧ください。1番のアンケートに始まりまして、8番の第3回みんなの制服プロジェクト委員会までが終了しました。

資料2の「みんなの制服プロジェクトだより」に6月26日の第1回委員会、8月18日の第2回委員会とサポートメーカーについて書かれています。また、保護者の意見の反映が少なかったという反省から、PTA役員537名にアンケートを行いました。集約結果としては、価格が変わらないという前提で、ブレザーや女子のスラックスに賛成が64.8%という結果になりました。(資料3の市内全小中学校の小学校4年生～中学校3年生の保護者へのアンケート調査結果を説明)

委員

サポートメーカーというのは報酬が出ているのでしょうか。特別な利益があるかのように疑念を持たれてはいけません。

事務局

市からの報酬はなく、このことを明示して募集をかけて応募されたメーカーで、仕様書を作るところまでをサポートしてもらい、各メーカーは仕様書に基づき製作します。福岡では、仕様書を作ったメーカーよりも他メーカーの方が市内のシェアが高いそうです。

委員

くれぐれも問題にならないようにご配慮をお願いします。

市長

サポートメーカーになったからといって、マーケットシェアを取れるとは限らないようですね。

委員

価格が上がらないように進めるにあたっての取組はどうなっていますか。

事務局

現在の制服の価格は、詰襟学生服が上下で3万円から4万2千円、セーラー服はもう少し高くなっております。ブレザー、スラックスになった場合、名古屋市緑区では上下で32,000円ほどとなっております、それほど上がらないと見込んでいます。メーカーに確認したところ、形よりもウール比率や装飾、機能などによって高くなるので、委員会等で今後示していきたいと考えています。

市長

尾州ウールの割合が高いと価格が上がるということですね。

事務局

サポートメーカーからは、尾州ウールを取り入れる提案も出ておりますので、何らかの形で実現できると考えております。

委員

今の制服でも、伸縮性や詰襟の固さなどで何種類もあります。

市長

いろいろな意見を取り入れていきたいですね。それでは、11月のシンポジウムについて事務局から説明をお願いします。

事務局

資料4の「みんなの制服プロジェクトシンポジウム(案)」をご覧ください。このプロジェクトの目的は、一部の生徒・教員・保護者ではなく、みんなの想いを発表し、共有し、具体的な「ことば」にまとめ、新制服の仕様書作成を進めるかどうかを、市、教育委員会へ提言することです。会場は1401会議室を予定していますが、コロナの関係と、できるだけ多くの子どもたちの意見を聞くため、広い会場が好ましいと考えており、オンライン開催も視野に入れて検討中です。開催結果につきましては、定例教育委員会等でご報告します。

市長

当日は教育委員さんも出席されますか。

事務局

会場に来ていただきたい、見ていただきたいとは思っておりますが、コロナウイルス感染症の関係で代表者に出席をお願いするか等は検討中です。

市長

制服の見直しを進めると LGBT に光が当たることも多いのですが、いろいろなことを議論してもらいたいと思います。ポロシャツについては反対意見が少ないようですが、導入するまでに何を決めていくことになりますか。

事務局

量販店で売っている白い物なら良いのか、また、形や色について意見があれば取り入れていきたいと思います。サポートメーカーが言うには、色が白いから透けるというわけではなく、素材次第ということです。

委員

今はデザインが改良されて、若い人は下着という感覚がなく着ているから、親ほどは気にしていないかもしれません。白への反対意見は減っていくのではないのでしょうか。

委員

サテライト会場では小学生を呼ぶのですか。

事務局

小学生にも案内通知を出す予定です。サテライト会場に限らず小学生でも参加してもらえれば、意見を取り入れたいと思います。

市長

小学校の反応に任せるのですか。

事務局

今回はそれでいいと考えています。今は中学生を中心に現状の制服の問題点を洗い出し、今後は新しい制服を着る小学生に参加を促す方針です。

委員

参加する生徒は、生徒会の役員ですか。

事務局

基本的に人選は学校に任せる予定です。例えば、各校に委員会を作るよう願いますので、その委員会を生活委員会中心で組織すれば、生活委員会から参加することになり、生徒会役員とは別になります。

委員

新制服への移行期間中に、旧制服の買い取り、リサイクルはできますか。

事務局

制度としては、難しいかもしれません。

委員

移行期間を設けていただくのはありがたいことですが、完全移行には時間がかかるのでしょうか。

事務局

名古屋市天白区の例では、移行期間1年目は、1年生はほとんどブレザー、2年生以上はほとんど前の制服だったそうです。

市長

その他で何かありますか。

事務局

今後の日程などについて連絡いたします。

資料5では、立場よりの関わり方を示したものです。学校で子どもたちの意見をまとめながら進めて、令和3年5月に仕様書を完成できることを目指します。今後の細かい動きは、市ウェブサイトのみんなの制服プロジェクト委員会のカテゴリにブログでお知らせします。今年度中に総合教育会議を開催させていただきたいので、それまではこのブログで情報を更新していきます。

市長

気づいたことがあれば、学校教育課へお伝えください。

他にご発言がなければ、これで令和2年度第1回総合教育会議を終了します。ありがとうございました。